

## 親会議(第8回)、専門部会(第4回)における主な意見に対する対応

意見	対応
第1章	
教育再生実行会議の第6次提言では、「学び直し」は「学び続ける」に変更している。また、「地域貢献」を「地域連携」に変更している。(親)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p2)
人口減少や少子化が言われる中、本報告書にはその観点が出ていないように思う。現行の施設の保有面積を確保するというのであれば、その点に触れた上で必要性を記載しておく必要があるのではないか。(専)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p2)
第2章	
p16の附属病院の箇所について、「病院完結型」は、「自己完結型」の方が一般的ではないか。(親)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p16)
第3章	
「地域に開かれた」ということは記載されているが、他方、セキュリティというのも、かなり重要な問題だと思う。オープンにすることと、セキュリティというのは、なかなか折り合いを付けるのに難しい面もあるが、研究上のトップシークレット情報の保護やデュアルユース問題への責任もあるので、セキュリティについても記載してはどうか。(親)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p22)
第3章と第4章のつながりを整理する上で、第3章の「(5)キャンパス環境の充実」については、「(2)教育研究機能の強化」の後に移動させた方が分かりやすいのではないか。(専)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p23)
第3章(5)キャンパス環境の充実については、ハード的な内容であり、(1)安全で良好な教育研究環境の確保、(2)教育研究機能の強化はソフト的な内容になっているように感じる。棲み分けが必要ではないか。(専)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p21～23)
報告書内で使われているアクティブラーニングと能動的学修は同じ意味か。(専)	同じ意味である。それが分かるように本文を修正。(中間報告p21)

第4章	
第3章に記載されているとおり、地域社会との連携は非常に重要だと思うが、第4章では、あまり記載されていない。また、国立大学の施設を地域社会との連携等のために整備するというのは、大学から地域への一方的な連携に思える。地域と一緒に設計して建てるといった双方向的な発想が必要。(親)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p33)
大学等は、災害が起きると、地域の人々の避難場所になることから、備蓄倉庫などの防災面についても記載してはどうか。また、防災については、サステイナブル等とも絡むので、バラバラに取考えず、トータル的に考えていくことが重要。(親)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p31)
大学のキャンパスは、かなりまとまった緑が形成されており、サステイナブル・キャンパスの記述の中に、生物多様性というキーワードがあった方がバランスが取れて良いように思う。また、震災時の機能維持という観点から、レジリエンスというキーワードも入れておくと良いと思う。(親)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p28)
試算額については、未確定な金額だということを記載した方が良いのではないかと。(親)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p84)
第3章2. のタイトル「戦略的な施設マネジメントの重要性」については、「重要性」を「推進」にした方がよいのではないかと。また、それを受ける形となる第4章3. のタイトルも見直した方がよいのではないかと。(専)	ご指摘を踏まえ、修正。(中間報告p24、39)
(規制緩和)	
近年、大学の財務基盤の強化など経営改革が言われている。最終報告までに、規制緩和のようなことを盛り込めると、時代に即応していけるのではないかと。(親)	国立大学経営力戦略に盛り込まれた、財務基盤の強化に伴う規制緩和等の検討状況を踏まえ最終報告までの間で検討。
大学施設あるいは、大学のキャンパスをコンセッションとして利用し、地域の新しい価値を造っていくことが、地方創生につながるため、その辺りを議論することが重要である。また、多様な財源として、例えば、アジアの政府系ファンドの利用の可能性についても考えておくべきではないかと。(親)	